

広報 しばた

3
2012
MARCH
No. 605
since 1961



春を呼ぶ ひな人形作り

2月15日、しばたの郷土館で「西風人形おひなさまづくり体験学習」が行われ、町内の女性17人が一足早い桃の節句を楽しみました。素敵な和紙を切り揃え何枚も重ね合わせて丁寧に作るひな人形は、十二単(じゅうにひとえ)のような豪華な仕上がりになりました。参加者は、心を込めて作ったひな人形を自宅に飾ったり、プレゼントしたいと持ち帰りました。

東日本大震災から1年

郷土の復旧・復興へ向けて

心ひとつに。

平成23年3月11日、私たちが今までに経験したことのない国内史上最
大の震災が発生し、忘れることができない日となりました。

震災は、多くの犠牲、多くの爪痕を残しました。また一方では、人の
やさしさや助け合いの心、地域の絆の強さを再認識させてくれました。

あの日から、間もなく1年が過ぎようとしています。復旧・復興に向
けて、皆さんと共に一歩ずつ前へ、心ひとつに歩んでいきましょう。

3月11日、午後2時46分。
突如襲った宮城県沖を震源
とする巨大地震は、東日本
を激しく揺さぶりました。
また、この地震は、10メー
トルを超える巨大な津波を
引き起し、東日本の太平洋
沿岸部にある街や浜を飲み
込み、未曾有の被害をもた

らしました。
町内においても、残念な
がら9人の尊い命が奪われ
ました。住宅などの建物は、
50棟が全壊や大規模半壊と
なったほか、瓦が壊れ壁に
亀裂が入るなど一部損壊の
被害がありました。また、
道路や上下水道、農業用施

設、公共施設などでも97
0カ所を超える被害が発生
しました。このほか、電気
や水道、集中ガスの供給や
電話などの通信手段など、
ライフラインが停止し、指
定避難所には、最高で23
00人が避難をしました。
現在、町では道路や河川、

上下水道などの土木施設、
農業用水路などの農業用施
設のほか、各公共施設の復
旧工事を全力で進めています。
さらに、安全で安心した
暮らしを守るために、震災
を教訓として防災対策を強
化する取り組みも行ってい
ます。情報通信手段の強化
や避難所の見直しを行った
ほか、消防団、自主防災組
織へ防災備品を配備しまし
た。また、電力施設の早期
回復のための協定や災害支
援物資に関する協定を新た

平成23年東北地方太平洋沖地震 (東日本大震災)

平成23年3月11日、午後2時46分
に発生した本震の震源地は三陸沖（深さ
24kmで、最大震度7を記録。地震の規模
を表すマグニチュードは、観測が始まって
以来初めて9.0を観測しました。

余震も3月11日から4月末までの期間
で、3,700回を超える地震が発生しました
(震度4以上が161回)。

主な地震の震度			
発生日時	最大震度	柴田町船岡	
平成23年 3月11日	14:46	7	5強
	14:51	5強	4
	17:40	5強	4
4月7日	23:32	6強	5強
4月11日	17:16	6弱	4



主な防災対策強化への取り組み

取組内容	時期
情報通信手段	
衛星電話の設置	平成23年10月
メール配信サービスの開始	平成23年8月
各行政区長へ防災無線配備	平成23年11月
給水	
給水所の増設(5カ所から10カ所へ)	平成24年3月
避難所	
優先開設避難所(6カ所)の指定	平成23年9月
備蓄用物資の配布	平成23年9月
防災備品(発電機・投光機)の追加配備	平成24年3月
消防団	
防災備品(発電機・投光機)の配備	平成24年3月
自主防災組織	
防災備品(発電機・投光機・給水タンク)の配備	平成23年11月
備蓄用物資の配布	平成23年9月 平成23年12月
放射能対策	
環境放射線モニタの配備(12台) ※文部科学省・宮城県から貸与または購入	平成23年5月～6月
環境放射線モニタの追加配備	平成24年3月
放射能測定機の配備 ※消費者庁から貸与	平成23年11月
災害協定	
電力設備災害復旧に関する協定	平成24年1月
災害時用段ボール用品の優先支援協定	平成24年2月
燃料の優先供給に関する協定	平成24年3月

※太字は、今後予定されている取り組み

東日本大震災の犠牲者への黙とうについて

東日本大震災の発生した日時に合わせて、消防署や消防団がサイレンを鳴らします。町民の皆さんには、この合図と共に震災の犠牲者へ黙とうをお願いいたします。

日時／3月11日(日)14:46

☎ 総務課 ☎ 55-2111

主な被害状況 (平成23年11月末日 現在)

人的被害		
死者※	負傷者	関連死
9人	4人	3人

※町外で亡くなられた町民を含む

建物被害				避難者数 (最高時)
全壊	大規模半壊	半壊	一部損壊	
13棟	37棟	151棟	1,590棟	2,300人

その他の被害			
道路・河川など	農林業施設	下水道	水道
269カ所	56カ所	472カ所	176カ所



倒壊した家屋
(槻木)



給水の長い列
(西住)



液状化による陥没
(大沼通線)

に結びました。また、今回のように町内全域が断水した際に、給水がスムーズに行われるよう、給水所の見直しを行ったほか、早期復旧を図るための水道の送水システムの改善を県に対して要望しています。

今回の震災は、巨大地震と津波による被害、さらにこの津波によって起こった福島第一原子力発電所事故と多重の災害が発生したものでした。

原子力発電所事故では、各地が放射能汚染にさらさ

れ、町では、空間放射線量の測定を町内38カ所で実施して、町ホームページやお知らせ版で結果をお知らせしています。さらに、食品に対する安全性を確保するために3月1日からは「食品などの放射能測定検査」が始まりました。

震災前の落ち着きを取り戻して来ましたが、いまだに、余震は続いています。安心した日々のためにも、皆さんと共に町の復旧・復興に向けて継続して取り組んでいきます。



東日本大震災から1年 3.11を振り返って

あの時、私たちは何をして、何を教訓として学んだのか。震災当時、町内で活躍していた町の消防団や婦人防火クラブ、自主防災組織と小さいながらもいろいろな不安があった小中学生から、今、3月11日を振り返って思うことを文章に書きつづっていただきました。



柴田町消防団
団長 佐藤 賢一 さん

冒頭に、未曾有の東日本大震災により、被害または被災された皆さまに、心から追悼の意を表すとともに心よりお見舞い申し上げます。

早いもので、あの忌まわしい大震災から1年が過ぎようとしています。私のはあの日、自宅で農業をしていました。突然、地鳴りがして激しい揺れ、しかも長い長い揺れで、かつて経験したことのない地震でした。消防歴38年の自分は、どんな地震でも数十秒で収まり対処できるものと思っていました。

ライフラインが長期に

わたり断絶し不便を強いられ、戸惑った町民が大半でした。そんな中、消防団員には被害状況を把握させ、各分団に給水活動支援や被災家屋の応急処置支援などの任務に当たっていただきました。

連絡網の断絶とガソリン不足などで十分な活動ができなかったと反省し、今後の教訓にしたいと考えます。また、大変残念なことに、全行政区に組織されている自主防災組織との連携が、一部地域で全く機能しなかったことも浮き彫りになっていきます。突然の出来事とはいいながらも、危機管理

意識を町民みんなで、今後、なお一層高める必要があります。

今や消防団は、地域の防災に欠かせない存在となっておりませんが、高齢化や地域コミュニティの希薄化など懸念されています。本町は、近隣市町に比べ消防施設や消防団の待遇が劣るところはありませんが、団員不足が悩みの種です。消防団の充実、強化のためにも町民のご理解をいただき団員確保に努めたいと思います。

今回の大地震の教訓を生かすとともに、研修や訓練を通して知識と技を磨き、町民が頼れる存在となるよう努めていきます。

最後に、一日も早い復興および災害のない1年と皆さまのご多幸をお祈りいたします。

特集
東日本大震災
から1年



地域福祉センターに災害ボランティアセンターが設置された



避難所に避難する地域住民
(船岡生涯学習センター)

3月11日、未曾有の被害をもたらした東日本大震災にはただ驚くばかりです。毎日のように余震があり不安な日々が続く昨今です。

この大震災の年に、婦人防火クラブ連合会が結成30周年を迎え「記念式典」を多くの方々のご支援とご協力のもとに開催いたしました。また、2月23日には、全国消防大会において「第64回日本消防協会賞」をいただいています。身の引き締まる思いです。これも、先輩諸姉の努力とご支援、地域関係者の方々のご指導のたまものと厚くお礼



婦人防火クラブ連合会
会長
青木 孝子 さん

申し上げます。

この度の大震災にあたり、各防火クラブが炊き出しや給水、避難所でのボランティアなどに敏速に行動し、また、甚大な被害を受けた山元町への炊き出し応援と、今日までの訓練が一番左右されたと思っています。

自分ひとりの力には限界がありますが、みんなと力を合わせたとき、人と人とのつながりがいかに大事であり、大切であるか身に染みました。

災害は、いつ降りかかるか分かりません。明日は我が身です。できることは精一杯協力してまい

毎日昼時に、NHK盛岡放送局が超大津波による証言「あの日、あの時」の番組を見る時、無我の境地での生きる、そして、悲惨な状況下の判断と体験を通じ訴えていると思います。

私事ですが19歳から40歳代まで、伊勢湾台風をはじめ幾多の災害に救援隊員として、参加した姿



第9 A区土手内自主防災会
会長
中島 亮祐 さん

が浮かんでいきます。現在、体力的に衰えてはおりませんが、経験した多種多様な教訓が現職務に少なからず支えになっているのかも知れません。

9 A区の自主防災会は平成17年に発足。試行錯誤しながら今年で7年目を迎えました。

こうした中、昨年3月11日の突如として襲った

りたいと思っています。

これからも、「自分の家から火を出さない。自分の地域はみんなを守る。自分の命は自分で守る」の掛け声で、いざという

時のために対応できる防火防災の講習会・研修会などを開催して防火の意識の高揚を図り、組織拡大強化に努めてまいります。



山元町磯地区住民の避難受け入れ
(太陽の村)



山元町で支援活動をする町職員

大地震は、恐怖感が入り混じる災害でした。テレビ・新聞などの報道は、被災者と遺族の悲痛な叫びに心の動揺が隠し得ません。

あの時、私共は発生直後から5日間と、4月7日の強烈なダブルパンチ余震で、集会所での避難所運営は、悪戦苦闘したもの皆さんの献身的な協力と支えで、延べ15日間、取り組むことが出来たと感謝しております。この実行動と運営は、生涯忘れることなく後生に受け継ぐ使命があると痛感しております。早くも1年が経過する今、9A区のみならず各行政区の自主防災会は、危機管理をもって積極的に組織自体を見つめ直す努力が必要だと思えます。そのためには、地域の方々と窮知に立った話し合いがあれば良い取り組

み方ができると思っています。そこで、行政側、地区側として具現する課題として、「周到な準備を備える大切さ」を次のように述べさせていただきます。と思えます。

◎行政側は、緊急事態に備え多岐にわたる情報・状況を受理できる情報・処理一体化の機能システムを構築すべきだと思います。

◎地区側は、各集会所指定管理者制度に災害などにおける管理運営制度を付加すべきだと考えています。

1年が経ついま、「災害は、何時やってくるかわからない」ことを念頭に今後の活動をしていきたい。



船迫小学校
6年
本郷 綺良梨 さん

2011年3月11日、私は学校で凶工のパズルを作っていた。そのとき、いきなり教室がゆれ、たなの上の物が落ちてきた。私は、すぐ机の下にもぐり、地震がおさまるのを待った。1回止まったと思ったら、今までより強くなつて、なかなかおさまらなかつた。やっとおさまったが、余震は続いていった。先生がみんなをろう下に並ばせ、それから外に出た。けが人はいなかつたが、私はこわくたまらなかつた。

今、振り返って、いろんなことを学ばせてくれた震災だったな...と思う。もちろん、地震から一カ月くらいは大変だった。水がない、火が使えない、食べ物が無い。初めは「もういやだ！なんでこんな地震がきたの！」と、後ろ向きなことばかり考えていたけど、今は、この地震が大切なことを教えた、と思ってる。それは、食べ物の大切さや、火、水の大切さなど、たくさんある。家に何もなくて、買い物するにも、4時間以上並ばなくてはならなかつた。そんな苦労をして買った物は、より一層おいしく感じ、食べ物って大切なんだと、改めて思った。

特集
東日本大震災
から1年



店舗の外で食料品などの販売がされた
(町内大型スーパー)



鉄道が不通により緊急輸送バスを運行
(JR 船岡駅)

そして、台所や洗面台のレバーを上げれば水が出る、ボタンを押せば火がつく、ということがいつも当たり前だったから、すごく困った。いとこの家は名取だったから、一日で火や水が使えるようになり、ご飯や缶に入れた水を持ってきてもらったりした。食べ物を食べるにも、手を洗うにも、何をするにも火や水は欠かせないものだった。そんな大きな地震を体験して、今、節水、節電はもちろん「物を大切にすること」「できることはやる」など、たくさんのことを努力している。これからも新しいことや、努力できることは、どんな挑戦し、続けていきたい。

東日本大震災を振り返って、心に残っている出来事があります。大きな地震のため、電気や水道が使えなくなり、食料も家にある物だけで過ごすという日が続きました。数日たって、やっとお店が開きはじめ、僕も家の近くのスーパーに食料を買うために並びました。スーパーはとても混んでいて、僕が買ったかった牛乳がもうありませんでした。困って落ち込んで立ち止まっていたとき、僕のそばにいた若い男の人がこういって僕に牛乳を渡してくれたのです。



槻木中学校
1年
濱田 晃大 さん
あき ひろ

「これどうぞ、困っているのはお互い同じだもんね。」
あの時のうれしさは忘れられません。まったく知らない人にやさしくされて感動したと同時に、心がすごくあたたかくなりました。大変な時だからこそ、やさしくする。あの震災の時、こういう気持ちになかったら、おそらくもっともつと大変なことになったと思います。自分が生きるために必死になるのはみんな同じですが、僕にやさしくしてくれた人のおかげで、自分も人に対して少しはやさ

しい気持ちになれたからです。もう一つ、あの時のことを思い出して考えることがあります。スーパーで並んでいた人の中には、お年寄りや体の不自由な人がいました。僕は、元気で動けるのに、買いたい物が買えませんでした。そう考えると、そういう方たちは、ちゃんと買いたい物があったのかな、ということなんです。今だって、いろいろな面で困ることがあるのではないかと、思っています。これから自分ができることとして、そういう方にやさしく接していきたいと思っています。僕は、牛乳を渡してくれたあの人にとっても感謝しています。あの人のようになりたいです。

3月1日から

食品などの放射能測定をはじめました。



消費者庁より放射能測定機器の貸与を受けて、3月1日から食品などの放射能測定を開始しました。

これは、福島第一原子力発電所事故で放射性物質が飛散したことにより、食品に対する不安が高まる中、子どもが口にする食品などの放射能を簡易測定して、その安全性を確認することで、不安の解消を図るものです。

放射能測定の概要について

- **対象者** 町内に住所を有する者
※概ね、18歳以下の子どもがいる家庭などが優先となります。
- **対象物** 自家消費を目的とした食品などに限ります。
- **測定数** 1人1日1検体 ※検体は、測定後に返却します
- **測定料** 無料
- **測定項目** 放射性ヨウ素 131、放射性セシウム 134、放射性セシウム 137
※簡易分析器の検出下限値は、30ベクレルです。
- **測定日時** 毎週 月曜日から金曜日 9:30～16:00
※祝日、年末年始を除く。
- **測定場所** 食品等放射能測定室（役場1階町民相談室内）



放射能測定の予約について

1日に測定できる検体の数が限られているため、測定する際は、あらかじめ予約が必要となります。

- **受付日時** 毎週 月曜日～金曜日 9:00～16:00
※祝日、年末年始を除く。
- **申込方法** 町民環境課の窓口または電話でお申し込みください。

食品などの 事前処理のお願い

固形物：5mm以下になるように細かく刻み、1kg以上をビニール袋などに入れてお持ちください。

液体：1,000ml以上を容器に入れてお持ちください。

※事前処理が不十分なきは、測定できないことがあります。



放射能測定の方法と流れ

1

町民環境課の窓口または電話で測定の予約をする

2

検査する食品などの事前処理をする

3

検査日、放射能測定室で受け付けをする



4

検体を専用の容器に移す



5

検体の重さを量る



6

容器を測定機に入れ密閉する



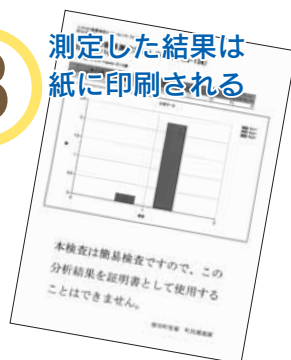
7

測定を開始する



8

測定した結果は紙に印刷される



9

職員から検査結果の説明を受ける



放射能測定結果について

測定結果が出るまでは、1検体当たり30分程度かかります。

検査結果については、その場で職員が説明を行います。また、依頼者本人には、「食品放射能濃度測定結果表」を発行します。

※この測定は簡易検査のため、「食品放射能濃度測定結果表」を証明書として使用することができません（証明書の発行もできません）。

放射能測定の予約・お問い合わせ先 町民環境課 ☎55-2113



柴田町長 滝口 茂

早いもので、東日本大震災に遭遇してから1年が過ぎようとしています。被災地では、応急復旧に目途が立ち、やっと本格的な復興に向けた取り組みが始まりました。

復興に当たっては、今回の大震災を個人主義や拝金主義に対する天からの警告と受け止め、これまでの生き方や社会のあり方を根本から変えていくような取り組みが必要だと思えます。

その変化の兆しは、多くの若者たちのボランティア活動や全国の自治体、企業などによるさまざまな支援活動、さらに、スポーツ選手や芸能人による心の復興支援などに現れています。こうした「人のために少しでも役に立ちたい」との思いや行動が、多くの被災者を励まし、勇気付けただけではなく、震災後の社会を変えていく力になるのではないかと思います。まだまだ、日本人の「助け合いの精神」は捨てたものではありませんでした。しかし、震災直後に漲っていた「心を一つに、日本人全員で頑張ろう」という意気込みも、時間の経過とともに薄れてきています。さらに、放射能の心配が被災地以外にも広がり始めると、被災地や被災者の心を傷つけるような報道が目につくようになってきたことはとても残念でなりません。

あの日から一年

福島県産の農産物を敬遠する消費者や流通業者の行動、風評被害による観光客の激減、被災地の瓦礫の受け入れを拒否する住民の姿を見聞するにつけ、日本人の「助け合いの精神」は上辺だけだったのではないかと疑ってしまいます。

そうした懸念を払拭するためにも、改めて、心を一つにして、日本人全員で力での困難を乗り越え、「あの日から日本人の生き方が変わった」、「人と人との絆が大切にされる社会づくりが始まった」といわれるような復興にしていかなければなりません。

自然の恵に感謝しながら、共に助け合い、忍耐強く生きてきた東北人の私たちが再び立ち上がり、自らの手で震災復興を成し遂げることで、初めて日本の再生が見えてくると思えます。今後、しばらくは困難な状況が続きます。しかし、沿岸部に比べて被害が少なかった柴田町が、早く元気に復興することで、宮城県の復興に寄与していきたいと思えます。

みやぎ県南中核病院からのお知らせ

問 みやぎ県南中核病院 ☎51-5500 <http://www.southmiyagi-mc.jp/>

救急外来の休診について



みやぎ県南中核病院では、電子カルテシステムなどの入れ替え作業を実施いたします。このため、下記の期間は救急外来の診療を行うことができませんので、お近くの医療機関をご利用ください。

大変ご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

救急外来休診期間 3月2日(金) 17:00から3月5日(月) 8:30まで

告 告

告 告



柴田町図書館

からのお知らせ

みんなの図書館

3月の特集

新生活応援します

希望に満ちた春到来！入学や就職など、新たな生活を迎える人も多いことでしょう。入園・入学準備やお弁当作りの本、他にも引っ越しや一人暮らしの極意、ビジネスマナーの本など、新生活に役立つ本を集めてみました。まだまだ寒い折ですが、図書館の本で「チェンジの春」に備えませんか？

また、震災の記録や放射能対策などの「震災関連本」についても特集します。

3月のお話し会
毎月第1・3土曜日開催

日時／3月3日(土)、17日(土) 11:00～12:00

※事前の申し込みは必要ありません。

場所／柴田町図書館（ふるさと文化伝承館1階奥の「和室」）

協力／絵本読み聞かせの会「おむすびころりん」

◆開館時間／平日 10:00～19:00 土・日曜日、祝日 10:00～17:00

◆3月の休館日／3月5日(月)、12日(月)、19日(月)、26日(月)、30日(金)

☎柴田町図書館（しばたの郷土館・ふるさと文化伝承館内） ☎86-3820 FAX86-3821 Eメール:library@town.shibata.miyagi.jp



参加と協働のまちづくり

住民主役のまちづくりを進めるため、住民自治によるまちづくり基本条例では参加と協働の促進を定めています。町が設置する審議会は、原則的に住民公募枠を設けたり、さまざまな方法で住民に意見を求め、町政へ反映させることにしています。

この条例が施行された後、住民自治によるまちづくり基本条例審議会委員やまちづくり提案審査会委員などで公募を実施し、公募委員の方からのご意見を生かしながら審議を進めています。

公共施設などの整備に関連する住民参加は、公園やコミュニティ施設（集会所）の設計と運営、自主防災組織による災害時の避難所の設置、伝達や誘導の体制など、色々な分野で見られるようになっていきます。住民参加によるまちづくりには、さまざまな効果が期待されますので、行政も住民も正しく理解して効果を発揮させることが大切です。

町政の主役である住民の皆さんが持っている知識や経験、創造性をまちづくりに反映させてください。町も皆さんへの情報提供や情報の共有に積極的に取り組んでまいりますので、ぜひご参加ください。

☎ まちづくり政策課 ☎ 54-2111

広 告

広 告

まちかど NEWS



縄文時代の上川名貝塚があることやみんなの幸せを願い命名



オープン式では、自慢の郷土料理が振る舞われた

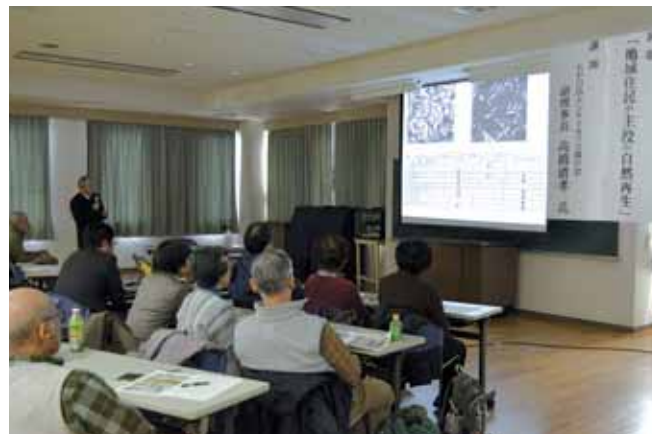
郷土の味を提供する縄文の幸オープン

上川名構造改善センターに2月3日、農村レストラン「縄文の幸」がオープンしました。これは、地区住民でつくる上川名地区活性化推進組合が、民俗研究家の結城登美雄さんからアドバイスを受けて準備をしてきたもので、組合の女性5人が中心となり運営されます。レストランは予約制となり、餅御膳がメインのランチや季節の郷土料理が味わえる宴会を10人から、弁当も20個から提供されます。

上川名地区活性化推進組合
(平間) ☎5611093

住民主役の地域づくりを学ぶ

1月29日、地域づくり研修会が槻木生涯学習センターで町民約50人が参加して行われました。研修会では、水産学博士でもあるNPO法人シナイモツゴ郷の会副理事長高橋清孝さんが講師に招かれ、外来種の無秩序な放流により絶滅危惧種となった体長8センチほどの小さな魚「シナイモツゴ」を地域ぐるみで保護し自然を守る取り組みについて紹介されました。参加者は、熱心な話を聞いていました。



10年前から自然再生活動を実践

広 告

心に届くピアノ四重奏の豊かな響き



弦楽とピアノの素敵なハーモニー

榎木生涯学習センターを会場に2月5日、仙台フィルハーモニー管弦楽団のメンバーを迎えて芸術鑑賞会が行われました。プロが奏でるバイオリン、ビオラ、チェロの弦楽器とピアノの調べを間近で聞こうと、町民約220人が集まり、クラシックや童謡などの代表的な7曲が演奏されました。会場に集まった人たちは、普段聞くことのできない素敵な演奏をうっとり聞き入っていました。

ふるさとのために小学生が提案

2月9日、子どもたちの視点でまちづくりについて考える子ども議会が町議会本会議場で開かれました。西住小学校と柴田小学校の六年生22人の議員は、少し緊張しながら「学校紹介を広報紙に載せてほしい」「お年寄りのために乗合タクシーを走らせてほしい」など日ごろの生活から感じた質問や提案を堂々と行いました。議会終了後、子どもたちの笑顔には、充実感や達成感が表れていました。



資料を使い工夫を凝らして質問

災害時における新たな協定

今後、大規模な災害が発生した場合にダンボール製簡易ベットなどの製品を優先的に提供してもらうための協定書の取交式が、2月13日に行われました。柴田町と協定を締結したのは、セツカートン(株)(大阪市)で、これまで沿岸部などで支援を行っており、宮城県内での協定締結は第1号となります。町で依頼することにより72時間以内にダンボール製簡易ベットなどが届けられることとなります。



滝口町長(左)と西川常務取締役

広 告

広 告

地デジの準備お済みですか？

～アナログテレビ放送終了まで、あと1カ月!!～



宮城県では、3月31日にアナログテレビ放送を終了して、地上デジタル放送へ完全移行します。

画面右上に「アナログ」と表示されているテレビ放送をご覧の方は、デジタルテレビへの買い換えやデジタルチューナーを買い足すなど、準備が必要となります。残り1カ月、早めの準備をお願いします。

地デジ相談コーナー 開設中！

専門の相談員が、地デジに関するさまざまな相談に丁寧にお答えします。

日時/毎週水曜日 9:30～16:30 場所/柴田町役場 1階「町民ホール」

地デジの疑問・相談はこちらまで

デジサポ宮城

☎022-745-1500

平日：午前9時～午後8時

土・日曜日、祝日：午前9時～午後6時

こうほう 文芸

短歌

春うらら天空近し館山に立つ
観音様の吾れ膝をとり
雪の下掘り起こしたる人參の
赤汗えざへと土温もりぬ
思いがけず雪の結晶に会えし時
繊細な美を不思議に思う
雪解けのアスファルト道煌めきて
我行く前は星屑如し

船岡 柄目けい子
船岡 萩
船岡 沢田 順子
船岡 大泉かずえ

川柳

憎いけど生かされた海うらまれず
長々と茶飲み話に花が咲く
盛り塩で暖簾を守る名女将
新酒酌み年賀の恵方舌に合
清め塩妻の手借りて背中まで
今年こそ良い年になるよう厄払い
景気いい恵方は無いか泥鰌さん
厄年へ祈る平和を去年今年
大寒波日本列島包みこむ
雪積り孫は喜び雪だるま
虫食の野菜美味しい無農薬
雪道でこれも絆と手をひかれ

四日市場 齋藤夢太郎
四日市場 坂本 一風
上名生 西村 久子
船岡 小野寺一彩
船岡 菅原 三男
船岡 鈴木 智子
船岡 萩原 善助
船岡 鳥貫よし雄
船岡 伊藤タイ子
船岡 安藤 節子
船岡 阿部美代子
船岡 水戸 貞夫

俳句

来客の愚痴にうなづく春炬燵
水仙や分教場の教卓に
春三日月冷たき笑みを浮かべり
白鳥やプライド高き湖の白
亡き父の訛りなつかし浅蜷汁
冬晴の日にしがみつく暮しかな
春の雪リズム奏でて樋流る
無学なる母は学べと黄水仙
浪の華テトラポットは羅漢さま
陽炎や被曝の牛が振り返る
快眠の息そのものや合格子
蔵王より辿り下るや春の水
雛に似た孫のお内裏今何処に

中野西 範子
石垣テル子
制野 千秋
遊佐 徹
山家美智子
及川美沙子
若月ノリ子
大久保 椿
永野 シン
佐藤きみこ
梶木 永井 堯
大槻 信吉
船迫 森田 眞六

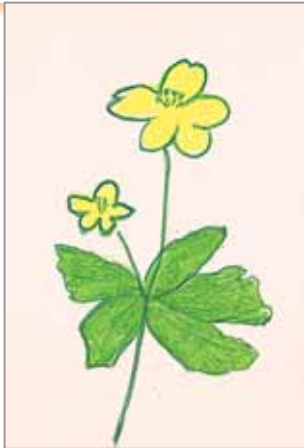
広 告

広 告



夢空間 2012

花ちゃん (ペンネーム)



女王の番犬 (ペンネーム)

smile kids

お子さん(4歳まで)の写真をお待ちしています。写真の裏にお子さんの名前を必ず書いてください。投稿者の住所、氏名、電話番号、子どもの名前・生年月日を明記し、「ひとこと」を添えて応募してください。

彩美 (ペンネーム)



こども美術館



「ねこをだいている自分」



西住小学校 4年

安海 隼 さん



「犬をだいているわたし」



西住小学校 4年

吉田 桃香 さん

ふれあいマイタウンは、町民の皆さんからの応募・紹介でつくるコーナーです。俳句・川柳・短歌に興味がある(こうほう文芸)、とても素敵な方なので紹介したい(人間もよう)、自己表現コーナー(夢空間 2012)、子どもの成長の写真やかわいい孫の写真を載せたいという方(町内にお住まいの4歳以下のお子さん)、はがき、手紙などで3月14日(水)までご応募ください。 ■連絡先/まちづくり政策課 ☎54-2111

告 告

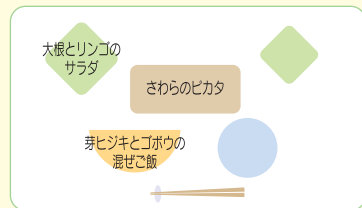
告 告



柴田町食生活改善推進員連絡協議会の
クッキング レシピ
 春の訪れを感じる料理



弥生3月、優しい春がやってきました。今が最盛期の「鱈(さわら)」を使った料理と野菜の使い切り料理を紹介します。鱈は淡泊でくせが無く、お酢とごま油の香りが効いた減塩だれがおすすめです。一緒に野菜を皮ごと使ったサラダも頂けば無駄なく、おいしく◎です。



さわらのピカタ
 一人あたり：286Kcal、塩分0.8g

材料(4人分)

- さわら…4切れ
- 塩…小さじ 1/2
- こしょう…少々
- 酒…小さじ 1
- 卵…2個
- ごま油…大さじ 1
- 小麦粉…大さじ 3
- 大根…100g (減塩だれ)
- 万能ネギ(小口切り)…20g
- しょうゆ…大さじ 1
- 酢、ごま油、砂糖…各小さじ 1



ひとこと
 卵液に二度付けすることで、よりふっくらと仕上がります。

作り方

- ① さわらは塩、こしょう、酒で下味を付ける。万能ネギは小口切りにし、大根は下ろし金で下ろしておく。
- ② ボールに卵を割ほぐしておく。余分な水分を拭き取った①に小麦粉をまぶし、卵をからめる。
- ③ フライパンでごま油を熱し②のさわらを焼く。表面が焼けたら、再度溶き卵をからめてこんがり焼き色が付くまで焼く。
- ④ ボールに、たれの材料を合わせて混ぜる。器に盛り付けた③に掛け、付け合わせの大根下ろしを添える。

芽ヒジキとゴボウの混ぜご飯 一人あたり：328Kcal、塩分0.5g

材料(4人分)

- 米…2合
- 芽ヒジキ…4g
- ショウガ…1かけ
- ゴボウ…75g
- ニンジン…30g
- 青シソ…2枚
- 砂糖、酒…各大さじ 1
- ④(しょうゆ…大さじ 1/2
- だし汁…1/4カップ)
- ⑤(砂糖、酒…大さじ 1
- しょうゆ…大さじ 1/2
- 酢…大さじ 1)

作り方

- ① 芽ヒジキはさっと洗い10～15分水中に漬けて戻す。米は洗って少なめの水で炊き上げる。
- ② ゴボウは、たわしで洗いピーラーを使って笹がきにして水にさらす。皮をむいたニンジンとショウガは線切りにしておく。
- ③ 鍋に材料④を入れて火に掛け、煮立ったら①を加える。煮汁がしみてきたら強火でさっと煮て取り出しておく。
- ④ 水気を切った②のゴボウ、ニンジン、ショウガを⑤で煮る。煮汁がなくなるまで中火で炒り煮にする。
- ⑤ ご飯に酢大さじ 1を振り掛け、③と④の具も加える。混ぜ合わせたら器に盛り付け、線切りにした青シソを飾る。



ひと足はやい春の味を楽しみませんか？

大根とリンゴのサラダ
 一人あたり：76Kcal、塩分0.3g

材料(4人分)

- 大根…160g
- リンゴ…1/2個
- 貝割れ大根…1/2パック
- ニンジン(皮)…適量
- 塩…少々 (ドレッシング)
- レモン汁…大さじ 1と 1/3
- はちみつ…小さじ 2
- しょうゆ…大さじ 1
- オリーブ油…大さじ 1
- 塩・こしょう…少々

作り方

- ① 大根は皮つきのまま縦に千切り、ニンジンの皮も千切りにして水にはなす。パリッとしたら水気をしぼる。
- ② リンゴは皮つきのまま4つ割りにして芯を取り、3～4mm厚さに切る。塩水(分量外)に浸し、ザルに上げて水気を切る。
- ③ ドレッシングの材料をよく混ぜておく。ボールに根元を落とした貝割れ大根、①と②を合わせたら器に盛り付ける。
- ④ 食べる直前に合わせておいたドレッシングを掛ける。



ひとこと
 余った野菜の皮は線切りにしてサラダに活用しましょう！

人口と世帯数
 (平成24年2月1日現在)



38,483人
 (前月比47人減)



19,113人
 (前月比28人減)



19,370人
 (前月比19人減)



14,692世帯
 (前月比3世帯増)

柴田町のホームページ <http://www.town.shibata.miyagi.jp/>

発行/柴田町役場まちづくり政策課 千九八九一六九二 宮城県柴田郡柴田町船岡中央三丁目一丁四五 ☎(〇三四)五四二二二 平成二十四年三月一日(六〇五)